

令和4年度「専修学校による地域
産業中核的人材養成事業」
高等学校、企業との有機的
連携による航空人材育成事業
成果報告書

令和5（2023）年3月
学校法人日本航空学園
日本航空大学校 北海道

目 次

I 事業概要

1. 実施目的	1
2. 実施概要	1

II コンソーシアム会議の開催

1. 第1回（8/30）	2
--------------------	---

III 高校側の状況・意向把握

1. 帯広北高校への授業	5
(1) 第1回（9/8）	5
(2) 第2回（11/10）	9
2. 帯広北高校生徒へのアンケート調査	17
(1) 調査概要	17
(2) 調査結果	19

資料編

- 資料1：第1回コンソーシアム会議配布資料
- 資料2：第1回コンソーシアム会議議事録全文
- 資料3：帯広北高校授業等実施発表用資料
- 資料4：帯広北高校アンケート調査票

I 事業実施概要

1. 実施目的

令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」高等学校、企業との有機的連携による航空人材育成事業（以降、本事業）は、高専共通の教育目標と一貫したカリキュラムを構築することで中核的人材育成の課題とされる航空業界の人材不足と、専門学校での中途退学を解決するものである。

日本航空大学校北海道では独自に開発した教材を使用する事により航空業界のニーズである専門的な知識を持ちながらも、職種を問わず活躍できる人材を育成し、また、将来の就職先企業の協力で出前授業を発展させた職業教育や就業体験、キャリアパス教育ができるため、航空業界への進路を促し人材不足に対応できる。高専接続においても高校での履修科目を専門学校で単位認定する制度や学費免除等も検討し、専門学校へ進学しやすい環境を整えることで、進学を希望する高校生の後押しを図るものである。

2. 実施概要

(1) コンソーシアム会議の開催

令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」高等学校、企業との有機的連携による航空人材育成事業の連携機関（日本航空大学校北海道、高等学校、企業等）のコンソーシアムを立ち上げ会議を開催した。

(2) 高校側の状況・意向把握

帯広北高等学校への2回の授業を実施し、取りまとめをはじめ、同校生徒を対象とし、進学や就職に関するアンケート調査を実施した。アンケート調査にあたり、調査票の設計、調査結果入力、集計、分析を行った。なお、生徒への配布・回収は帯広北高等学校に依頼した。

Ⅱ コンソーシアム会議の開催

令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」高等学校、企業との有機的連携による航空人材育成事業の連携機関（日本航空大学校北海道、高等学校、企業等）のコンソーシアムを立ち上げ会議を開催した。

1. 第1回（8/30）

「航空人材育成産学官連携コンソーシアム第1回会議」は、8月30日14時より、日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパスキャビントレーニングセンター2にて開催した。

航空人材育成産学官連携コンソーシアム第1回会議 【議事概要】

日時：令和4年8月30日（火）14:00～15:00

場所：日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス
キャビントレーニングセンター2

1. 開会挨拶

梅澤学長：（挨拶）

2. コーディネーター紹介

佐々木事務部長：（道銀総研紹介）

道銀総研・北嶋：（挨拶）

- ・当事業のコーディネーターとして、当会議の運営をはじめ、本日以降より日程調整や謝金・交通費などの支払いなどといった事務処理、各種調査等のサポート、事業実施に伴う各種資料や議事録などの作成・整理、事業報告書の作成支援等をする。



3. 自己紹介

道銀総研・北嶋：（会社紹介含めて自己紹介）

（以降、出席者名簿順に自己紹介）

4. コンソーシアム協定書（案）について

道銀総研・北嶋：（資料2 コンソーシアム協定書（案）説明）

- ・このコンソーシアムの業務処理責任者は梅澤学長とし、実際の事務連絡及び諸手続については、佐々木事務部長と道銀総研より案内させていただく。
- ・実際の締結については、改めて道銀総研より連絡させていただく。
- ・協定書案にある事業従事者をそれぞれ選任いただき、代表者等ではなく、本日参加いただいた方からが望ましいと考えている。
- ・今後の事業展開によっては、複数の企業・団体にもこのコンソーシアムに参画いただく予定としている。協定書案にもある通りこの会議で協議、実際には書面持ち回りになるかと思うが、皆さんに事前にご連絡、ご了解をいただいた上で進めていく。
- ・教育委員会については、このコンソーシアムの構成員としてではなく、外部からオブザーバーとしてご協力いただく。なお、特別な書類、手続等はいらない予定。

道銀総研・北嶋：（合わせて、委員就任関連の説明）

- ・基本的には日程調整等の連絡はメールを中心に道銀総研より行う。
- ・本日分を含め、会議等の参加や協力の伴う費用や諸謝金等は、原則として文部科学省が示している規程、基準等に従って道銀総研より謝金及び交通費を支払う。
- ・改めて依頼文や承諾書、個人で謝金等を受け取りの場合はマイナンバーに関するお願い等もさせていただく。
- ・謝金は原則として参加いただいた個人に支払う予定で、会社・団体等として受け取る場合、あるいは諸事情により辞退されたい場合は別途申し出ください。
- ・本来は、本日支払うべきところだが、これらについて別途ご連絡させていただき、例えば依頼文の宛先や稟議用に必要な補足説明資料など必要な場合は申し付けください。
- ・それでは、コンソーシアム協定書について一度持ち帰り検討頂けるか。

辻野校長：了解。

川井マネジャー：了解。

5. 事業概要について

佐々木事務部長：（「資料3 事業概要」前段説明）

山本副学長：（「資料3 事業概要」帯広北高への授業の部分説明）

佐々木事務部長：（「資料3 事業概要」後段説明）

道銀総研・北嶋：（補足説明）

辻野校長：

- ・持ち帰って、できる限り周知、理解を深めていきたい。

森副部長：

- ・9/8の参加人数は28名（1年生が23名、2年生が5名）。

道銀総研・北嶋：

- ・9/8は資料作成等の為、当社も同席する。写真等については公表前に確認をお願いする。

森副部長：

- ・「事業概要」についてデータファイルを送付ください。

道銀総研・北嶋：

- ・了解。

道銀総研・北嶋：（「資料4 ヒアリング調査票」説明）

- ・本日出席の帯広北高、ANA 新千歳空港には、教育プログラムへの意向等について、後日記入いただき当方まで返送をお願いしたい。
- ・特になければ「特になし」とし、このコンソーシアムの立ち上げにあたって構成員の意向や意見を収集・整理したくお願いするもので、事業期間中継続して尋ねる。

6. 今後のスケジュール

佐々木事務部長：

- ・帯広北高生徒を対象に第1回目授業を9/8に実施、第2回目の授業を10月頃に実施する。
- ・第2回目の授業は帯広北高、JAL スカイ札幌とANA 新千歳空港にもOB・OGを中心に協力をお願いしている。
- ・体験フライトは航空会社とチャーターフライト等について只今調整中のため、次回会議で報告する。
- ・次回コンソーシアム会議は、11月頃の開催を予定。

森副部長：

- ・情報共有までだが、9/12、10/16 にオープンキャンパスを行い、日本航空大学校北海道にもブースで説明頂くことになっている。

道銀総研・北嶋：

- ・本日まで出席の帯広北高、ANA 新千歳空港には、コンソーシアム協定書確認後ご連絡をお願いしたい。
- ・ヒアリング調査、アンケート調査は後日あらためてお願いしたい。

7. 閉会

北嶋部長：（閉会）

以上

Ⅲ 高校側の状況・意向把握

帯広北高等学校への2回の授業を実施し、取りまとめをはじめ、同校生徒を対象とし、進学や就職に関するアンケート調査を実施した。アンケート調査にあたり、調査票の設計、調査結果入力、集計、分析を行った。なお、生徒への配布・回収は帯広北高等学校に依頼した。

1. 帯広北高校への授業

(1) 第1回(9/8)

1. 実施概要

帯広北高校の航空関係に関心のある生徒を対象に、日本航空大学校北海道において、実際に学校の施設や設備、機材、授業風景の見学、英語でのロールプレイ授業の体験により、当校においてどのような教育が受けられ、卒業後の進路等について認識を深める機会を設けた。

日 時	令和4年9月8日(木) 11:15~14:30
場 所	日本航空大学校北海道
対 象	帯広北高校の航空関係に関心のある生徒・1~2年生
参加者数	生徒25名(高校1年生20名、高校2年生5名) 先生2名(辻野校長、森先生)
対 応	日本航空大学校北海道 梅澤学長、山本副学長、佐々木事務部長、三浦先生、土屋先生、ヴァン・ケカル先生、岩畦先生、志田先生、村松先生、木村先生、国際航空ビジネス科学生
事 務 局	(立会等の為) 株式会社道銀地域総合研究所・北嶋、柿田、桂
授業概要	11:15~11:20 学長挨拶 11:20~12:15 英語での機内サービスロールプレイ、英語チェックインロールプレイ 12:15~12:45 学食にて昼食 12:45~14:25 校内見学、体験学習 14:25~14:30 副学長挨拶



<学長挨拶>



<副学長挨拶>

2. 授業等内容

(1) 英語での機内サービスロールプレイ

機内サービス（CA）を英語で行えるようにすることを目標に、モックアップ内で、ドリンクサービスを英語で実施する他、ミールサービスのポイントを説明の上、メニューの説明の仕方や選択肢が無くなった時のミールの薦め方について説明し、ロールプレイを実施した。



＜ミールサービスポイント説明＞



＜ミールサービスロールプレイ＞

(2) 英語チェックインロールプレイ

丁寧な英語表現を学び接客に活かすことを目標に、空港チェックインカウンターのモックアップにおいて、基本的なチェックインの流れを日本語で確認後、英語での対応を説明した。英語教師の後に続いて英語のフレーズを復唱した他、発音の注意事項、ポイントについて説明した。その後、GS 役、お客様役に分かれてロールプレイを実施した。



＜チェックイン対応等説明＞



＜英語でのチェックインフレーズのレッスン＞

(3) 校内見学及び体験型学習

昼食後、午後からは校内見学を行い、エンジン実習や溶接、板金作業等が行われる実習棟はじめ、教室棟における CAD の授業風景を見学した。また、ハンガー（機体格納庫）では実習用の小型機等の見学、ランプ（駐機場）では機材への搭乗体験も行った。研修用保護具を装着し、機内食を航空機に運びこむためのフードローダーに搭乗し操作体験も行った。

各施設見学後、キャビントレーニングセンターに戻り、客室乗務員のスカーフ巻き体験を実施した。



＜教室棟見学＞



＜CAD 授業風景の見学＞



＜ハンガー（機体格納庫）見学＞



＜ランプ（駐機場）で機材への搭乗体験＞



＜実習用車両車庫見学等＞



＜フードローダー操作体験＞



＜キャビントレーニングセンター＞



＜スカーフ巻き体験＞

以上

(2) 第2回 (11/10)

1. 実施概要							
帯広北高校1年生を対象に、日本航空大学校北海道所属講師はじめ、ANA 新千歳空港(株)職員、(株) AirDo に就職した日本航空大学校北海道の卒業生による「1日授業」を行い、航空業界の業務に関して認識を深める機会を設けた。							
日 時	令和4年11月10日(木)8:55～15:10						
場 所	帯広北高校						
対 象	帯広北高校1年生						
参加者数	生徒138名(1B:27名、1C:24名、1D:30名、1E:29名、1F:28名) 先生(辻野校長、森先生、各担任)						
出 講 者	日本航空大学校北海道:梅澤学長、山本副学長、水口部長、佐々木事務部長、宮本先生、瀬下先生、村松先生、三浦先生、那須先生 (株)AirDo:米山 萌 氏(CA6年目、羽田所属、日本航空大学校北海道2017年卒業)、大鎌 信子氏(アテンント職員、北海道室副部長) ANA 新千歳空港(株):両國 陽香 氏(総務部人材戦略課)						
事 務 局	(立会等の為)株式会社道銀地域総合研究所・柿田						
授業概要	【1時間目 (体育館)】						
		時間	概要			担当 (敬称略)	
	1時間目	8:55～9:05	学長挨拶			梅澤学長	
		9:05～9:15	就職状況説明			水口部長	
		9:15～9:40	参加企業((株)AirDo、ANA 新千歳空港(株))の紹介 参加企業からの説明			水口部長 ANA 新千歳空港(株)・両國氏 (株)AirDo・米山氏	
		9:40～9:45	アナウンス(デモンストレーション)GS アナウンス(デモンストレーション)CA			ANA 新千歳空港(株)・両國氏 (株)AirDo・米山氏	
	【2～6時間目 (各教室)】						
	授業		基礎製図	航空機整備	グランド ハンドリング	飛行機の仕事 紹介/CA・GS編	パイロット
	担当		宮本先生	瀬下先生	村松先生	三浦先生、(株) AirDo・米山氏	那須先生
	2時間目	9:55～10:45	1B	1C	1D	1E	1F
	3時間目	10:55～11:45	1C	1D	1E	1F	1B
	4時間目	11:55～12:45	1D	1E	1F	1B	1C
	5時間目	13:20～14:10	1E	1F	1B	1C	1D
	6時間目	14:20～15:10	1F	1B	1C	1D	1E
	※2時間目～6時間目は5つの教室(1B、1C、1D、1E、1F)にて各授業を実施 (授業毎に生徒が教室を移動)						



<帯広北高校①>



<帯広北高校②>

2. 授業概要

(1) 1時限目：学長挨拶、就職状況説明、参加企業からの説明、アナウンス(デモンストレーション)

梅澤学長からの「挨拶」の後、水口部長より、「就職状況説明(日本航空大学校北海道から航空分野への就職率、就職先企業等について)」を行った。

参加企業である ANA 新千歳空港㈱・両國氏、(株)AirDo・米山氏からは、担当している仕事内容、何がきっかけで航空業界に進んだか、仕事・会社・業界の魅力、高校時代はどんな生徒だったか等について説明頂いた。

両國氏からは、「航空業界で採用担当業務をしている立場としては、採用面接の際には、学生時代に自身の経験を通して何を学んだかについて話して欲しい。何を成し遂げ、課題をどう克服してきたか、それを自分の言葉で伝えられるとよい。学生時代に多くの経験をしてください。」等のアドバイスがあった。

米山氏からは、「CA を目指したきっかけは、学生時代に親戚に会いに行くために乗った飛行機で、機内サービス等をする CA という仕事に憧れを持った。高校2年生の時に CA を目指すための勉強ができる日本航空大学校を知り進学準備を始めた。日本航空大学校進学後は、同級生が皆、航空業界への就職を希望していることから、同じ目的、志しをもって仲間と共に学べたことは貴重な経験であった。」等の話があった。

最後に、元 GS の ANA 新千歳空港㈱・両國氏より空港内アナウンス(デモンストレーション)、(株)AirDo・CA 米山氏より機内アナウンス(デモンストレーション)をして頂いた。



<学長挨拶①>



<学長挨拶②>



<先生の紹介>



<就職状況説明>



<企業からの説明(左：両國氏、右：米山氏)>



<アナウンス(デモンストレーション)>

(2) 2時限目：基礎製図

設計・製造に必要な製図の読み方、書き方の基礎知識を学ぶことを目的に「基礎製図」の授業を行った。

図面の作成事例から製図とは何か、製図で使用する様々な専門道具について使用方法を説明した。また、課題図形の問題を解いてみて物体の書き方や、三角法で描く面の位置の他、生徒が実際に製図体験をし、物体を描く楽しさを知ってもらうべく授業を行った。



<授業風景>



<製図体験①>



<製図体験②>



<製図体験セット>

(3) 3時限目：航空機整備

航空機整備の体系、種類について理解できるようにすることを目的に「航空機整備」の授業を行った。

航空機整備作業の大別をはじめ、航空機の運航について説明し、航空機整備の基本的作業の一つとしてトレーナーを使用した部品の脱着作業について体験学習を行った。



<授業風景>



<部品の説明>



<部品の脱着体験①>



<部品の脱着体験②>

(4) 4時限目：グランドハンドリング

グランドハンドリング業務の認識、理解ができるようにすることを目的に「グランドハンドリング」の授業を実施した。

グランドハンドリングの必要性をはじめ、仕事の内容として航空機が到着してから出発するまでの間で行う作業について説明し、グランドハンドリングの作業の一つとしてマーシャリング(航空機の誘導)体験学習を行った。



<授業風景>



<マーシャリングの説明>



<マーシャリング体験①>



<マーシャリング体験②>



<掲示パネル①>



<掲示パネル②>

(5) 5 時限目：飛行機の仕事紹介/CA・GS 編

CA・GS の仕事を理解し、現役 CA からドリンクサービスを学ぶことを目的に「飛行機の仕事紹介/CA・GS 編」の授業を行った。

航空会社で行っている仕事内容をはじめ、CA・GS の仕事について説明した。株AirDo・CA の米山氏からのドリンクサービスの説明やデモンストレーションの後、ドリンクサービスの体験学習を行った。さらに CA のスカーフ巻き体験学習も行った。



<授業風景>



<ドリンクサービスの説明等>



<ドリンクサービスデモンストレーション>



<ドリンクサービス体験>



<スカーフ巻きの説明>



<スカーフ巻き体験>

(6) 6時限目：パイロット

パイロットの資格・業務について理解することを目的に「パイロット」の授業を行った。

航空機の種類、ライセンスについて、ライセンス毎の内容、飛行機の等級、エアラインパイロットになるためにはどうすればよいか等について説明した。操縦適性について説明後、実際にフライトシミュレーターの体験学習を行った。



<授業風景>



<飛行機について説明>



<フライトシミュレーター体験①>



<フライトシミュレーター体験②>

航空大学校北海道×帯広北高 空の人材確保へ連携 整備や接客 相互に訪れ授業や実習

11/10 20:07



客室乗務員のドリンクサービス業務を体験する帯広北高生

千歳市の専門学校「日本航空大学校北海道」と帯広北高が、両校で一貫して航空人材を養成する教育プログラムに取り組み始めた。10日は、大学校の教員や航空会社の客室乗務員が北高を訪れ、航空業界を紹介する特別授業を実施。コロナ禍の採用控えの反動で人手不足が予想される航空業界の人材確保を目指す。

両校は2020年度に協力校として協定を締結。21年度に文部科学省から、専門学校と高校が連携して人材を養成する事業の採択を受け、今年9月から両校一貫プログラムを始めた。

10日は、総合コースの1年生160人が教員やAIRDO（エア・ドゥ）の客室乗務員から、操縦シミュレーター体験や航空整備などの授業を受けた。接客の心構えやスカートの巻き方について学んだ1年大坂英さん（16）は「英語を使う仕事がしたくて興味があった。現役の人から話が聞けて良かった」と喜んだ。

今後、両校は高校3年間を通したカリキュラムを策定。「航空基礎英語」として航空業界用語や機内アナウンスを学べる授業や、北高生が大学校を訪れて航空整備や客室乗務員から受ける実習を想定する。

さらに、北高在学中に受けた授業を大学校で単位認定したり学費を一部免除したりする案もある。進学後のミスマッチによる中退をなくし、「専門的な知識を持ちつつも職種を問わず活躍する人材」の育成を目指す。

教育プログラムには、エア・ドゥやANA新千歳空港などの航空関連会社も協力。日本航空大学校北海道の梅沢忠弘学長は「今後は全道各地の高校と連携を広げていき、北海道観光を支える人材を育てたい」と話す。（田口友博）

以上

2. 帯広北高校生徒へのアンケート調査

(1) 調査概要

帯広北高校の生徒を対象に、航空業界への関心を深めてもらうこと等を目的に、令和4年9月8日に日本航空大学校北海道で「体験授業（※1）」、同年11月10日には帯広北高校で、航空関連企業の方や日本航空大学校北海道の先生達による「一日授業（※2）」を行った。これら「体験授業」及び「一日授業」の満足度、理解度等を把握することを目的に、受講者を対象にアンケート調査を実施した。

	アンケート調査概要
調査目的	9/8 体験授業、11/10 一日授業の満足度、理解度等を把握する為
調査時期	令和4（2022）年 11/30～12/5
調査対象	帯広北高校生徒（9/8 体験授業受講者 25 名、11/10 一日授業受講者 138 名）
調査方法	担任の先生から調査票（紙ベース）を配布・回収
設問	【9/8 体験授業について】 問1 9/8 体験授業受講の有無 問2 体験授業の満足度 問3 体験授業の理解度 問4 今後の進路、将来への役立ち度合 問5 日本航空大学校北海道への進学意向 問6 航空分野への就職意向 問7 再度受講意向 問8 進路希望 問9 進路についての意見等 【11/10 体験授業について】 問1 11/10 一日授業受講の有無 問2 一日授業の満足度 問3 一日授業の理解度 問4 今後の進路、将来への役立ち度合 問5 日本航空大学校北海道への進学意向 問6 航空分野への就職意向 問7 再度受講意向 問8 進路希望 問9 進路についての意見等
回答者数 (回収率)	9/8 受講者数：25 名 ⇒回答者数 21 件（回収率：84.0%） 11/10 受講者数：138 名 ⇒回答者数 120 件（回収率：87.0%）

※1「体験授業」

令和4年9月8日に帯広北高校の航空関係に関心のある生徒を対象に、日本航空大学校北海道において、実際に学校の施設や設備、機材、授業風景の見学、英語でのロールプレイ授業の体験により、当校においてどのような教育が受けられ、卒業後の進路等について認識を深める機会を設けた。

【実施概要】

日 時	令和4年9月8日（木）11:15～14:30
場 所	日本航空大学校北海道
対 象	帯広北高校の航空関係に関心のある生徒・1～2年生
参加者数	生徒25名（高校1年生20名、高校2年生5名） 先生2名（辻野校長、森先生）
対 応	日本航空大学校北海道 梅澤学長、山本副学長、佐々木事務部長、三浦先生、土屋先生、ヴァンランケカイル先生、岩畦先生、志田先生、村松先生、木村先生、国際航空ビジネス科学生
授業概要	11:15～11:20 学長挨拶 11:20～12:15 英語での機内サービスロールプレイ、英語チェックインロールプレイ 12:15～12:45 学食にて昼食 12:45～14:25 校内見学、体験学習 14:25～14:30 副学長挨拶

※2「一日学習」

帯広北高校1年生を対象に、日本航空大学校北海道所属講師はじめ、ANA新千歳空港株式会社職員、株式会社AirDoに就職した日本航空大学校北海道の卒業生による「1日授業」を行い、航空業界の業務に関して認識を深める機会を設けた。

【実施概要】

日 時	令和4年11月10日(木)8:55～15:10
場 所	帯広北高校
対 象	帯広北高校1年生
参加者数	生徒138名(1B:27名、1C:24名、1D:30名、1E:29名、1F:28名) 先生(辻野校長、森先生、各担任)
出 講 者	日本航空大学校北海道:梅澤学長、山本副学長、水口部長、佐々木事務部長、宮本先生、瀬下先生、村松先生、三浦先生、那須先生 株式会社AirDo:米山 萌 氏(CA6年目、羽田所属、日本航空大学校北海道2017年卒業)、大鎌 信子氏(アテンド職員、北海道室副部長) ANA新千歳空港株式会社:両国 陽香 氏(総務部人材戦略課)

【授業概要】

	時間	概要	担当
1時間目	8:55～9:05	学長挨拶	梅澤学長
	9:05～9:15	就職状況説明	水口部長
	9:15～9:40	参加企業(株式会社AirDo、ANA新千歳空港株式会社)の紹介 参加企業からの説明	水口部長 ANA新千歳空港株式会社・両国氏 株式会社AirDo・米山氏
	9:40～9:45	アナウンス(デモンストレーション)GS アナウンス(デモンストレーション)CA	ANA新千歳空港株式会社・両国氏 株式会社AirDo・米山氏

授業		基礎製図	航空機整備	グランド ハンドリング	飛行機の仕事 紹介/CA・GS 編	パイロット
担当		宮本先生	瀬下先生	村松先生	三浦先生、㈱ AirDo・米山氏	那須先生
2 時間目	9:55～10:45	1B	1C	1D	1E	1F
3 時間目	10:55～11:45	1C	1D	1E	1F	1B
4 時間目	11:55～12:45	1D	1E	1F	1B	1C
5 時間目	13:20～14:10	1E	1F	1B	1C	1D
6 時間目	14:20～15:10	1F	1B	1C	1D	1E

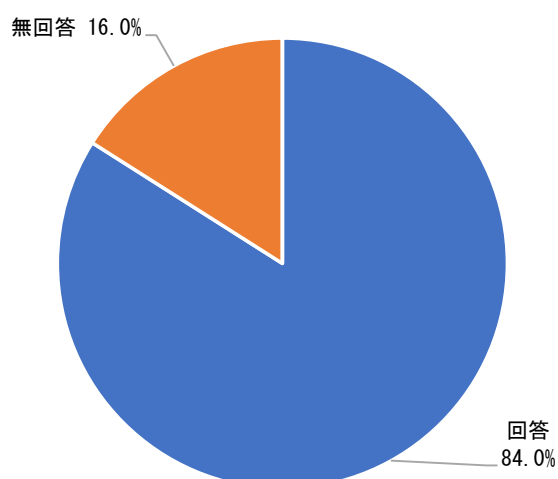
(2) アンケート調査結果

9/8 日本航空大学校北海道での体験授業について

【回答者数】

9/8 日本航空大学校北海道での体験授業の受講者 25 名のうち、当アンケートへの回答者数は 21 名 (84.0%) から回答があった。

図表 1 9/8 日本航空大学校北海道での体験授業受講者 (25 名) のうち
当アンケート回答 (21 名) の状況について



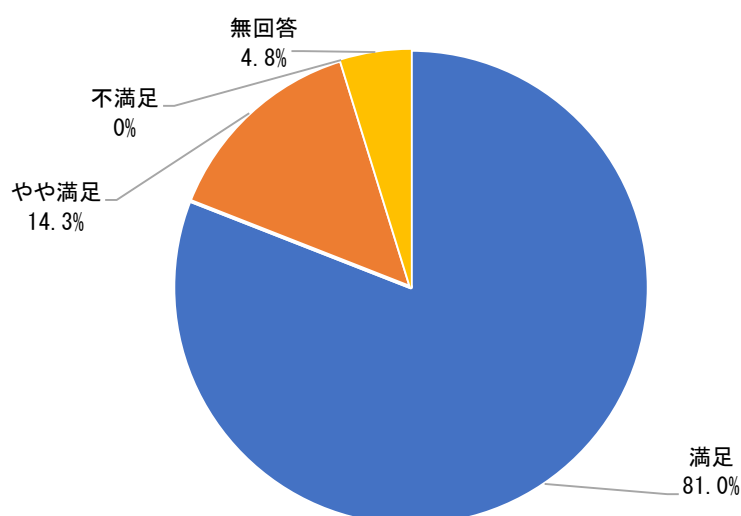
【問 2 体験授業の満足度】

問 2 「体験授業」を受けてみてどうでしたか？ (○は1つ)

体験授業の満足度は、「満足」が最も多く 81.0%、次いで「やや満足」が 14.3%となっている。「不満足」の回答数は0件であった。

満足した (「満足」+「やや満足」) と回答した割合は、合わせて 95.3%で、満足度の高い授業であったことがうかがえる。

図表 2 体験授業の満足度 (N=21)



	合計	満足	やや満足	不満足	無回答
全体	21	17	3	0	1
	100.0	81.0	14.3	0.0	4.8

注：表の上段に件数 (件)、下段に構成比 (%) を示した。また

回答件数が1位に■ (濃い青色)、2位に■ (青色)、3位に■ (水色) に色付した (以降同様)

【問2-1 回答理由】

問2-1 上記の設問で、「体験授業」を受けてみて、「満足」、「やや満足」、「不満足」と回答した理由は何ですか？

問2で「満足」との回答者による満足した理由としては、「一般的な大学のオープンキャンパスと違って、普段体験できない初めてのことをたくさんできたから」といったように「体験による学びへの評価」や、「以前から関心があった為」、「航空分野について学べた為」、「将来の可能性の広がりにつながった為」、「英語力の向上」の為等があげられた。

また、問2で「やや満足」との回答者からも「体験による学びへの評価」等があげられた。

図表3 回答理由

	理由	
「満足」の理由	体験による学びへの評価	・一般的な大学のオープンキャンパスと違って、普段体験できない初めてのことをたくさんできたから。 ・憧れのCAの体験ができてとても楽しかった。学生さんも優しくてうれしかった。 ・いろいろな種類の授業を楽しく体験できたから。 ・様々な体験ができた為。 ・実際に行かないかぎり絶対に体験できないことができたから。 ・実際にその場に行くことでより内容がわかりやすかったから。 ・普段体験できないことを体験できたから。 ・普段できないことが体験できたから。 ・普通では体験できないようなことができたから。
	以前から関心があった為	・以前からこの学校に興味があったので深いところまで知れたから。 ・航空系の仕事が以前から気になっていて、実際航空系の学校に行ったらどういふのを学ぶのかを知りたかったので、とてもいい経験になった。 ・満足の理由は、前から少し興味があったから。
	航空分野について学べた為	・航空機のことについてしっかり知ることができたから。 ・航空業に就く人がどのような学習をしているのかを知ることができたから。 ・海外の人にどのように対応しているか見れたから。
	将来の可能性の広がり	・英語を使う仕事が気になっていたので、将来の幅が広がったため。
	英語力の向上	・新しい体験が多く、英語力も高められるいい経験になったから。
「やや満足」の理由	体験による学びへの評価	・いろんなことの体験ができたから。 ・楽しかった。
	その他	・ガソリンのにおいや、音がうるさかったから。
※問2は無回答も当設問には回答	体験による学びへの評価	・説明だけではなく、体験することが多くて楽しかった。

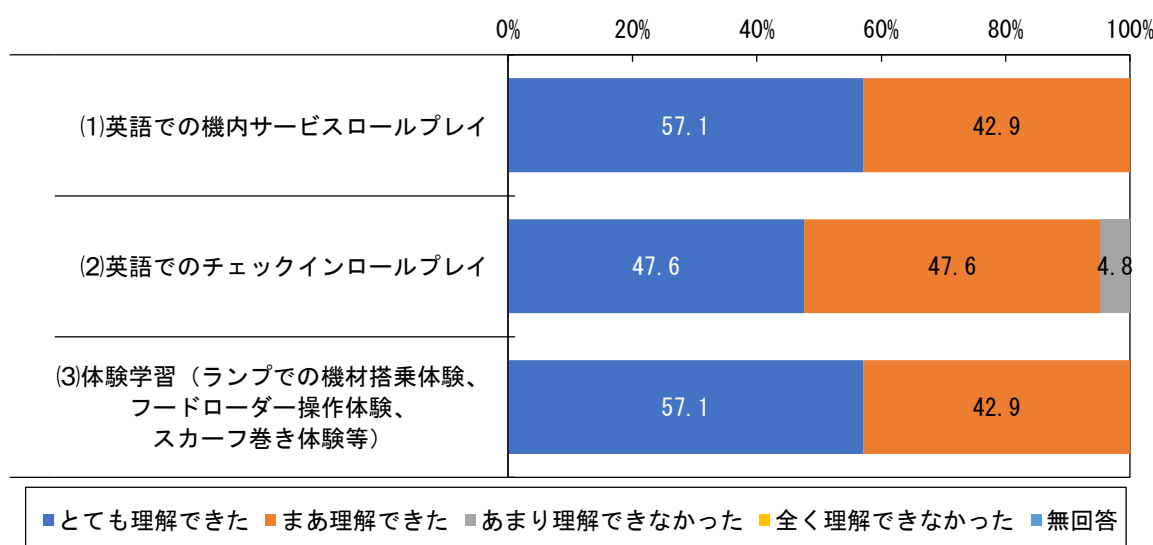
【問3 体験授業の理解度】

問3 「体験授業」の内容は理解できましたか？（それぞれ○は1つ）

- (1)英語での機内サービスロールプレイ
- (2)英語での機内サービスロールプレイ
- (3)体験学習（ランプでの機材搭乗体験、フードローダー操作体験、スカーフ巻き体験等）

体験授業の理解度について、理解できた（「とても理解できた」＋「まあ理解できた」）と回答した割合は、「(1)英語での機内サービスロールプレイ」が100.0%、「(2)英語での機内サービスロールプレイ」が95.2%、「(3)体験学習（ランプでの機材搭乗体験、フードローダー操作体験、スカーフ巻き体験等）」が100.0%となっており、いずれも理解度の高い授業であったことがうかがえる。

図表4 体験授業の理解度（N=21）



	合計	とても理解できた	まあ理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	無回答
(1)英語での機内サービスロールプレイ	21 100.0	12 57.1	9 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
(2)英語でのチェックインロールプレイ	21 100.0	10 47.6	10 47.6	1 4.8	0 0.0	0 0.0
(3)体験学習（ランプでの機材搭乗体験、フードローダー操作体験、スカーフ巻き体験等）	21 100.0	12 57.1	9 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0

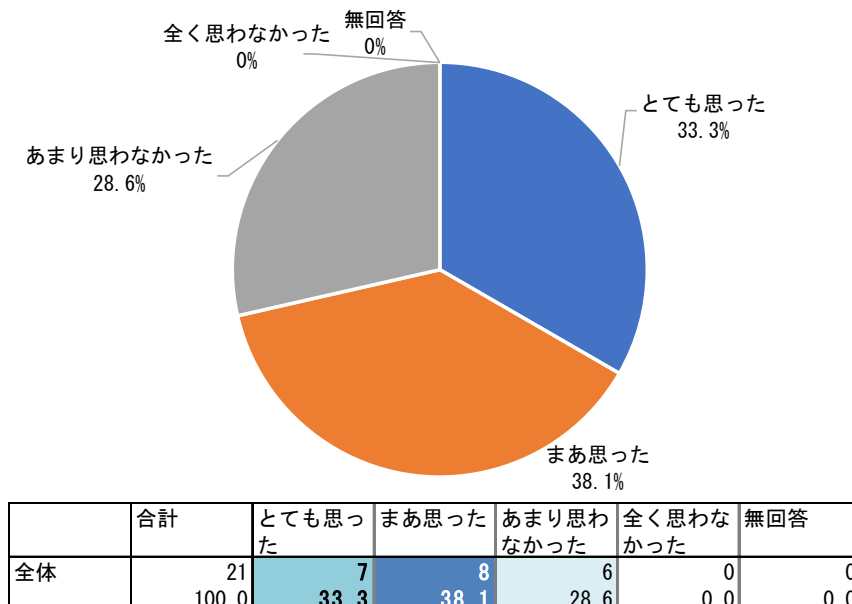
【問4 今後の進路、将来への役立ち度合】

問4 「体験授業」を受けて、今後のご自身の進路、将来に役立つと思われましたか。（○は1つ）

今後の進路、将来への役立つかについては、「まあ思った」が最も多く 38.1%、次いで「とても思った」が 33.3%となっている。

役立つと思った（「とても思った」＋「まあ思った」）と回答した割合は、合わせて 71.4%で、今後の進路や将来への役立ち度合が高い授業であるとの評価があった。

図表5 今後の進路、将来への役立ち度合（N=21）



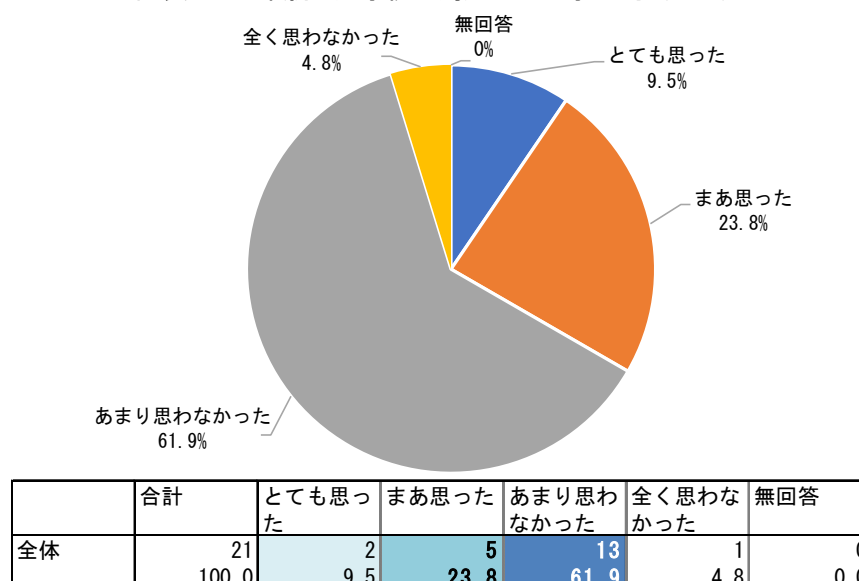
【問5 日本航空大学校北海道への進学意向】

問5 「体験授業」を受けて、日本航空大学校北海道に進学したいと思われましたか？（○は1つ）

日本航空大学校北海道への進学については、「あまり思わなかった」が最も多く 61.9%、次いで「まあ思った」が 23.8%となっている。

進学したいと思った（「とても思った」＋「まあ思った」）と回答した割合は、合わせて 33.3%で、3割強の生徒から日本航空大学校北海道への進学意向がある。

図表6 日本航空大学校北海道への進学意向（N=21）



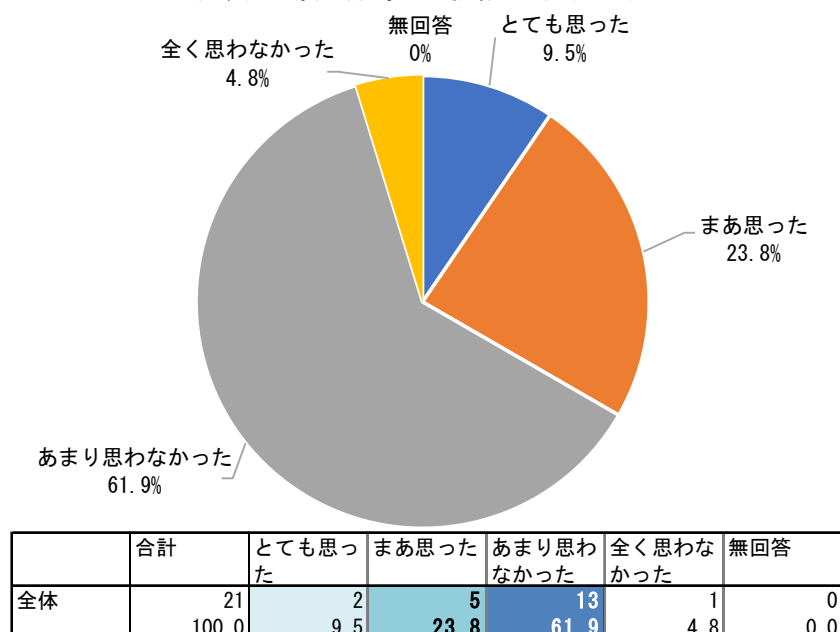
【問6 航空分野への就職意向】

問6 「体験授業」を受けて、航空分野に就職したいと思いませんか？（○は1つ）

航空分野への就職については、「あまり思わなかった」が最も多く 61.9%、次いで「まあ思った」が 23.8%となっている。

航空分野に就職したいと思った（「とても思った」＋「まあ思った」）と回答した割合は、合わせて 33.3% で、3 割強の生徒から航空分野への就職意向がある。

図表7 航空分野への就職意向（N=21）

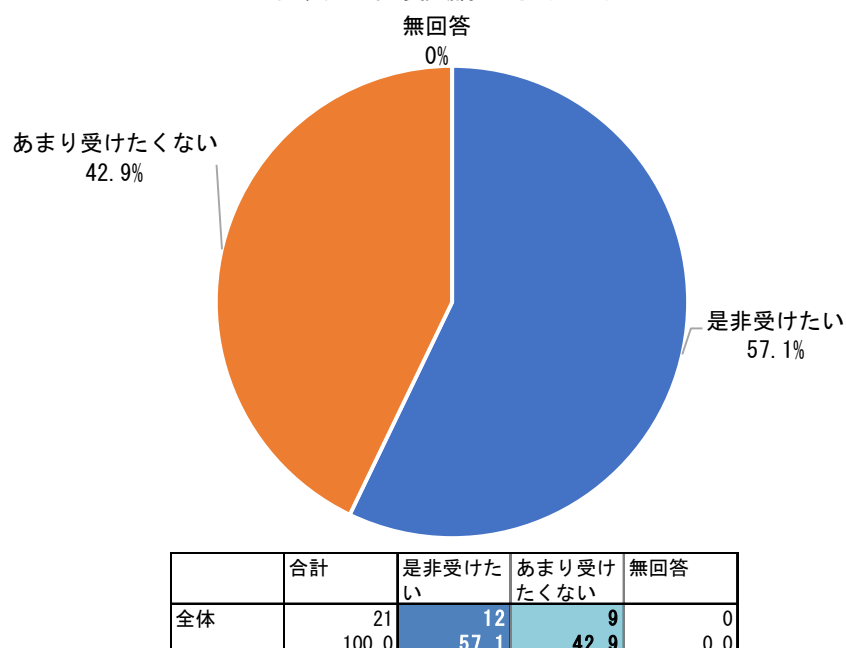


【問7 再度受講意向】

問7 また機会があれば、このような「体験授業」を受けたいと思いませんか？（○は1つ）

再度受講意向としては、「是非受けたい」が 57.1%、「あまり受けたくない」が 42.9%となっており、半数以上は再度受講意向がある。

図表8 再度受講意向（N=21）



【問 7-1 回答理由】

問 7-1 上記の設問で、また機会があれば、「体験授業」を「是非受けたい」または「あまり受けたくない」と回答した理由は何ですか？

「是非受けたい」理由としては、「キャビンアテンダントとグラウンドスタッフのより詳しい体験授業をしてみたいと思う」といった「より詳しい学びの為」、「今回が楽しかったので、もっと違うことでもしてみたいと思ったから」といった「今回授業の満足度の高さ」によるもの等があげられた。

一方、「あまり受けたくない」理由は、「航空系の仕事につきたいと思っていないから」といった「航空分野に関心が無い為」等があげられた。

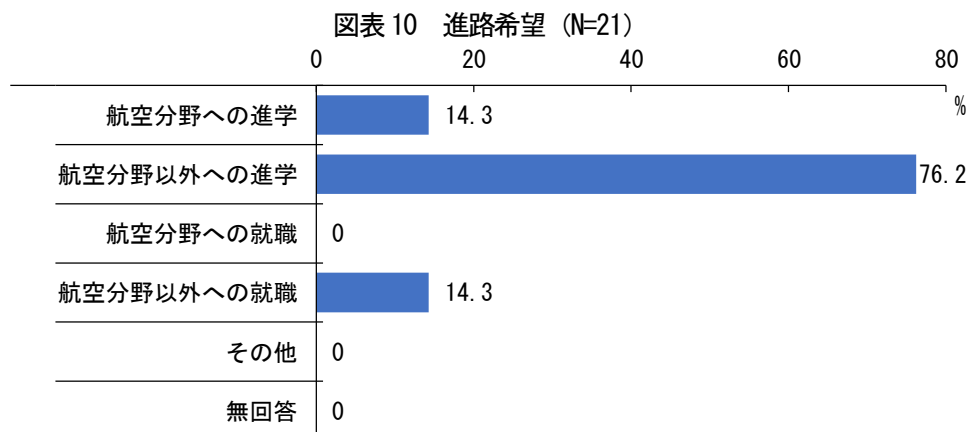
図表 9 回答理由

	理由	
「是非受けたい」理由	より詳しい学びの為	・キャビンアテンダントとグラウンドスタッフのより詳しい体験授業をしてみたいと思う。 ・前は時間がなく少しずつの体験しかできなかったもので、今回は長い時間をかけてゆっくり体験したいと思ったから。 ・もっと航空機のことについて知りたいから。 ・今回は、飛行機がつくれるまでの学習がしたい。 ・今回は客室乗務員のことをもっと詳しく知りたいです。 ・今回はもう少し詳しく CA の仕事について知りたい。 ・いろいろな業界のことを知りたいから。 ・そこで学んだことがいつ役に立つかわからないので、このような場に積極的に参加したい。
	今回の授業の満足度の高さから	・今回が楽しかったので、もっと違うことでもしてみたいと思ったから。 ・楽しかったから。 ・インターネット上での情報ではなく、実際に身をもって学習することが楽しかったから。
	その他	・制服を着てみたい。
「あまり受けたくない」理由	航空分野に関心が無い為	・航空系の仕事につきたいと思っていないから。 ・あまり興味がないから。 ・航空分野はあまり自分に向いていない気がしたので。 ・この業界に興味がないから。 ・自分のやりたいことの分野が違うから。 ・普通の授業を受けたいから。 ・私は航空系の仕事は目指していないから。
	その他	・行くのに時間がかかるから。

【問8 進路希望】

問8 あなたは、卒業後、どのような進路を希望していますか？（〇はいくつでも）

進路希望は、「航空分野以外への進学」が最も多く 76.2%、次いで「航空分野への進学」、「航空分野以外への就職」がいずれも 14.3%となっている。



	合計	航空分野への進学	航空分野以外への進学	航空分野への就職	航空分野以外への就職	その他	無回答
全体	21 100.0	3 14.3	16 76.2	0 0.0	3 14.3	0 0.0	0 0.0

【問9 進路についての意見等】

問9 あなたが、進路について不安に思っていることや、知りたいこと等についてお書きください。

進路についての意見等は、問8で「1. 航空分野への進学」との回答者からは、「短期留学について知りたい」等があげられた。

一方「2. 航空分野以外への進学」との回答者からは、「航空系に進学しなくても就職でつくことは可能かどうか」等の意見等があげられた。

図表 11 進路についての意見等

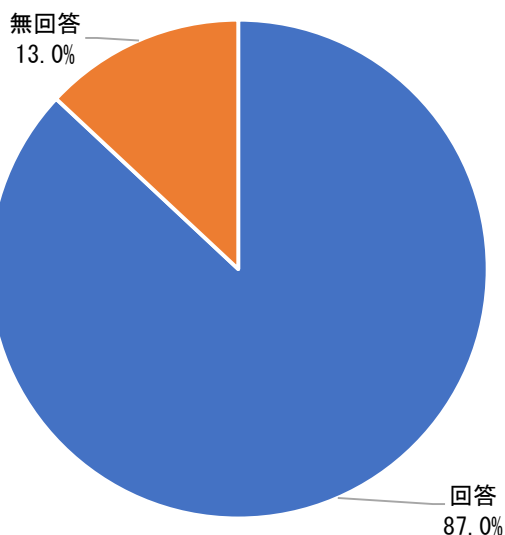
進路希望 (問8での回答状況)	意見等
「1. 航空分野への進学」と回答	・短期留学について知りたい。 ・航空分野は幼い頃からすごく興味がありやりたい事の1つだが、同時にもう1つやりたい事があり、それを在学中に並行して行えるのか不安。
「2. 航空分野以外への進学」と回答	・航空系に進学しなくても就職でつくことは可能かどうか。 ・成績が悪いこと。 ・その大学に自分がやりたいことがあるのか。 ・大学の勉強が難しそうで不安。 ・入試についてもっと知りたい。

11/10 帯広北高校での一日授業について

【回答者数】

9/8 日本航空大学校北海道での体験授業の受講者 138 名のうち、当アンケートへの回答者数は 120 名 (87.0%) から回答があった。

図表 12 11/10 帯広北高校での一日授業受講者 (138 名) のうち
当アンケート回答 (120 名) の状況

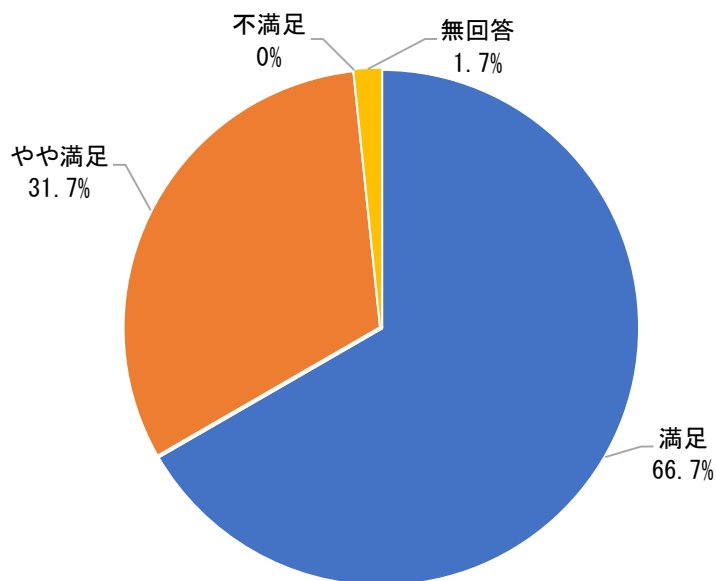


【問2 一日授業の満足度】

問2 「一日授業」を受けてみてどうでしたか？ (○は1つ)

一日授業の満足度は、「満足」が最も多く 66.7%、次いで「やや満足」が 31.7%となっている。満足した (「満足+やや満足」) と回答した割合は、合わせて 98.4%で、満足度の高い授業であったことがうかがえる。

図表 13 一日授業の満足度 (N=120)



	合計	満足	やや満足	不満足	無回答
全体	120	80	38	0	2
	100.0	66.7	31.7	0.0	1.7

注：表の上段に件数 (件)、下段に構成比 (%) を示した。また

回答件数が1位に■ (濃い青色)、2位に■ (青色)、3位に■ (水色) に色付した (以降同様)

【問2-1 回答理由】

問2-1 上記の設問で、「一日授業」を受けてみて「満足」、「やや満足」、「不満足」と回答した理由は何ですか？

問2で「満足」との回答者による満足の理由としては、「おもしろく、分かりやすく話が聞けたから」といったように「今回の授業の満足度の高さ」によるものや、「以前から関心があった為」、「航空分野について学べた為」、「将来の可能性の広がり」につながった為があげられた。

また、問2で「やや満足」との回答者からも、同様に「今回の授業の満足度の高さによる為」等が理由としてあげられた。

図表 14 回答理由

	理由	
「満足」の理由	今回の授業の満足度の高さによる為	・おもしろく、分かりやすく話が聞けたから。 ・わざわざ北高に来てくださり授業してもらえていい経験ができたから。 ・楽しみながら色々な事が学べた。等
	以前から関心があった為	・以前から興味があった航空業界で働いている方から実態の話が聞けた為。 ・以前から少し興味があったから。 ・もともと興味があったため、より知れてよかった。等
	航空分野について学べた為	・色々な航空業界の仕事を知れたから。 ・航空業界についての知らなかったことを学ぶことができたから。 ・あまり身近なものではなく、なんとなくこんな感じかなと思っていたが、想像していたよりもハードでやりがいのある仕事が航空業界には多いと感じた。等
	将来の可能性の広がり	・選択肢の広がる良い機会になったし、内容も濃かったのでとても為になったから。 ・こんな仕事があるとわかり、選択肢が増えるから。 ・進路も夢も決まっていなかったもので、普段あまりふれない世界の仕事を知れて自分の選択肢が広がったから。等
「やや満足」の理由	今回の授業の満足度の高さによる為	・初めて受けてとても楽しかった。 ・普段聞けないことがたくさん聞けたし、体験ができたため。 ・普段絶対受けられない授業が受けられた。等
	以前から関心があった為	・以前から少し興味があった整備について実際に働いている方から実態の話が聞けた為。 ・以前からパイロットの操縦を見てみたいと思っていた為。 ・飛行機に乗ることが好きだったから詳しく聞けてよかった。等
	航空分野について学べた為	・航空業界でどのような仕事をしているか知れた為。 ・航空のことについて知る機会がなかったのでいろいろ知ることができてよかった。 ・知らなかった航空業界のことがたくさん聞けたから。等
	将来の可能性の広がり	・進路のことを改めて考えられたから。 ・進路の一つとして聞くことができた。等

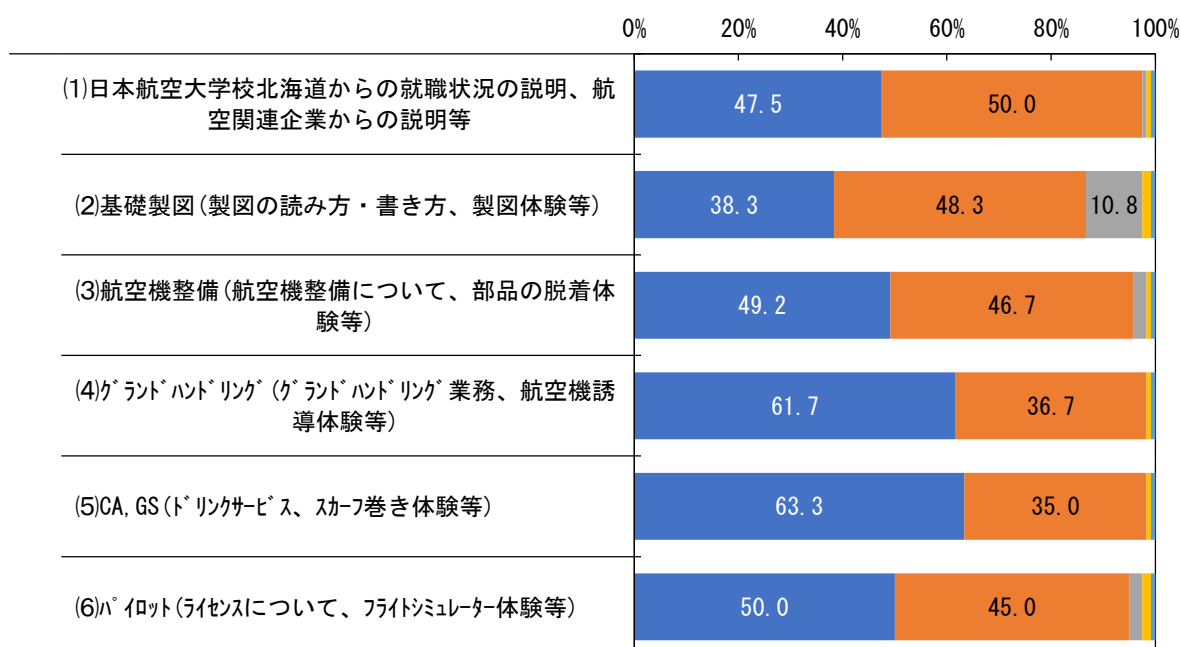
【問3 一日授業の理解度】

問3 「一日授業」の内容は理解できましたか？（それぞれ○は1つ）

- (1)日本航空大学校北海道からの就職状況の説明、航空関連企業からの説明等
- (2)基礎製図（製図の読み方・書き方、製図体験等）
- (3)航空機整備（航空機整備について、部品の脱着体験等）
- (4)グランドハンドリング（グランドハンドリング業務、航空機誘導体験等）
- (5)CA, GS（ドリンクサービス、スカーフ巻き体験等）
- (6)パイロット（ライセンスについて、フライトシミュレーター体験等）

一日授業の理解度について、理解できた（「とても理解できた」＋「まあ理解できた」）と回答した割合は、「(1)日本航空大学校北海道からの就職状況の説明、航空関連企業からの説明等」が97.5%、「(2)基礎製図（製図の読み方・書き方、製図体験等）」が86.6%、「(3)航空機整備（航空機整備について、部品の脱着体験等）」が95.9%、「(4)グランドハンドリング（グランドハンドリング業務、航空機誘導体験等）」が98.4%、「(5)CA, GS（ドリンクサービス、スカーフ巻き体験等）」が98.3%、「(6)パイロット（ライセンスについて、フライトシミュレーター体験等）」が95.0%となっており、いずれも理解度の高い授業であったことがうかがえる。

図表 15 一日授業の理解度 (N=120)



■とても理解できた ■まあ理解できた ■あまり理解できなかった ■全く理解できなかった ■無回答

	合計	とても理解できた	まあ理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	無回答
(1)日本航空大学校北海道からの就職状況の説明、航空関連企業からの説明等	120 100.0	57 47.5	60 50.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8
(2)基礎製図（製図の読み方・書き方、製図体験等）	120 100.0	46 38.3	58 48.3	13 10.8	2 1.7	1 0.8
(3)航空機整備（航空機整備について、部品の脱着体験等）	120 100.0	59 49.2	56 46.7	3 2.5	1 0.8	1 0.8
(4)グランドハンドリング（グランドハンドリング業務、航空機誘導体験等）	120 100.0	74 61.7	44 36.7	0 0.0	1 0.8	1 0.8
(5)CA, GS（ドリンクサービス、スカーフ巻き体験等）	120 100.0	76 63.3	42 35.0	0 0.0	1 0.8	1 0.8
(6)パイロット（ライセンスについて、フライトシミュレーター体験等）	120 100.0	60 50.0	54 45.0	3 2.5	2 1.7	1 0.8

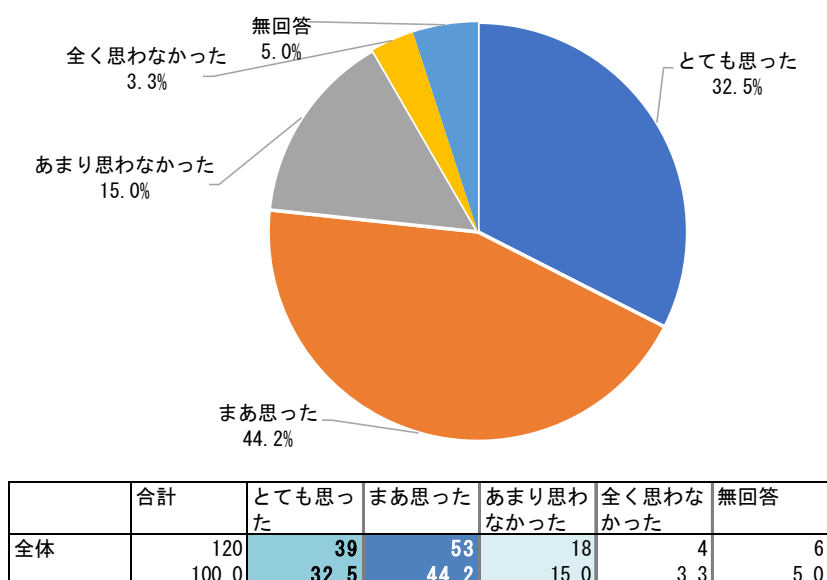
【問4 今後の進路、将来への役立ち度合】

問4 「一日授業」を受けて、今後のご自身の進路、将来に役立つと思われましたか？（○は1つ）

今後の進路、将来への役立ち度合については、「まあ思った」が最も多く 44.2%、次いで「とても思った」が 32.5%となっている。

役立つと思った（「とても思った」＋「まあ思った」）と回答した割合は、合わせて 76.7%で、今後の進路や将来への役立ち度合の高い授業であるとの評価があった。

図表 16 今後の進路、将来への役立ち度合（N=120）



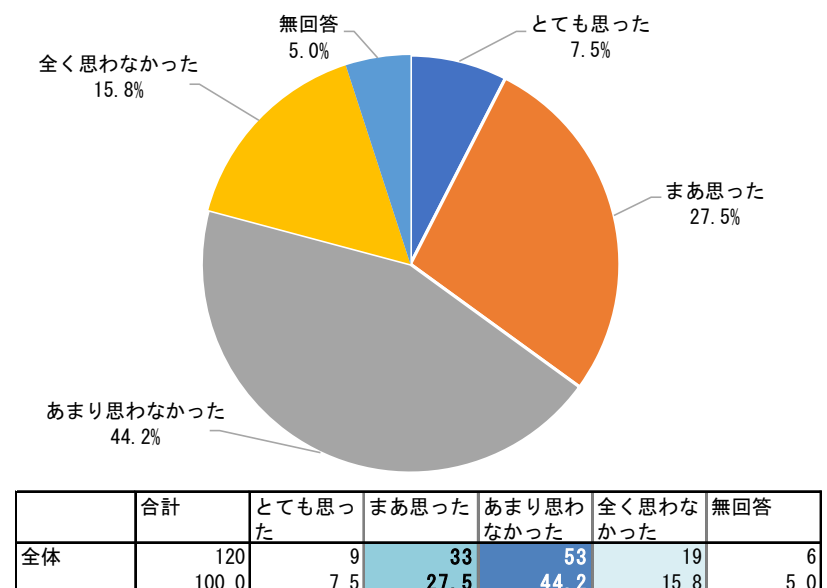
【問5 日本航空大学校北海道への進学意向】

問5 「一日授業」を受けて、日本航空大学校北海道に進学したいと思われましたか？（○は1つ）

日本航空大学校北海道への進学については、「あまり思わなかった」が最も多く 44.2%、次いで「まあ思った」が 27.5%となっている。

進学したいと思った（「とても思った」＋「まあ思った」）と回答した割合は、合わせて 35.0%で、3割強の生徒から日本航空大学校北海道への進学意向がある。

図表 17 日本航空大学校北海道への進学意向（N=120）



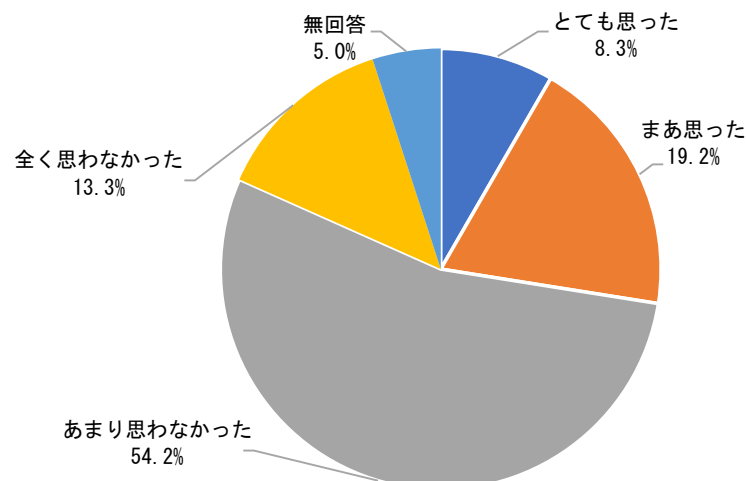
【問6 航空分野への就職意向】

問6 「一日授業」を受けて、航空分野に就職したいと思いませんか？（○は1つ）

航空分野への就職については、「あまり思わなかった」が最も多く 54.2%、次いで「まあ思った」が 19.2%となっている。

航空分野に就職したいと思った（「とても思った」＋「まあ思った」）と回答した割合は、合わせて 27.5%で、3 割弱の生徒から航空分野への就職意向があることが明らかとなった。

図表 18 航空分野への就職意向 (N=120)



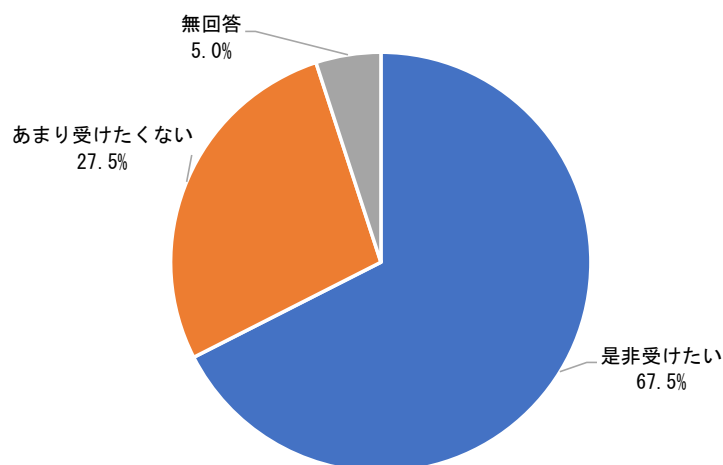
	合計	とても思っ た	まあ思っ た	あまり思わ なかった	全く思わな かった	無回答
全体	120 100.0	10 8.3	23 19.2	65 54.2	16 13.3	6 5.0

【問7 再度受講意向】

問7 また機会があれば、このような「一日授業」を受けたいと思いますか？（○は1つ）

再度受講意向としては、「是非受けたい」が 67.5%、「あまり受けたくない」が 27.5%となっており、7 割弱は再度受講意向がある。

図表 19 再度受講意向 (N=120)



	合計	是非受け たい	あまり受け たくない	無回答
全体	120 100.0	81 67.5	33 27.5	6 5.0

【問 7-1 回答理由】

問 7-1 上記の設問で、また機会があれば、「一日授業」を「是非受けたい」または「あまり受けたくない」と回答した理由は何ですか？

「是非受けたい」理由としては、「話はわかりやすいし、楽しかったから」といった「今回の授業の満足度の高さから」をはじめ、「自分の進路の幅が広がる機会になるのでまた受けたい」といった「将来の可能性を広げる為」、「より詳しく学びたい為」があげられた。「次回、もっと学びたいこと」としては、CA、空港、製図、グランドハンドリング、機内事情、操縦等があげられた。

一方、「あまり受けたくない」理由は、「自分の知りたい分野ではないから」といった「航空分野に関心が無い為」の他、「別の進路を決めている為」等があげられた。

図表 20 回答理由

	理由	
「是非受けたい」理由	今回の授業の満足度の高さから	・楽しかったから。興味のある分野がたくさんあったから。 ・楽しかったから。いい機会だった。 ・話はわかりやすいし、楽しかったから。等
	将来の可能性を広げる為	・自分の知らない知識が多かったので、また機会があれば新しい知識を知れて、なりたいものの幅が広がるかもしれないから。 ・将来の選択肢をもっと増やしたいから。 ・自分の進路の幅が広がる機会になるのでまた受けたい。等
	より詳しく学びたい為	・もっと詳しく航空関係のを知ることができたらよいと思ったから。 ・もっと詳しい仕事の内容を知りたい。 ・さらに詳しいことを教えてほしいから。等
	(次回、もっと学びたいこと)	・次回はCAについてより知りたいと思った。国際線のCAについてもっと知りたいと思った。 ・空港が好きなので空港について教えて欲しい。 ・理解が浅い部分をもう少し詳しく知りたいと思ったから(製図、グランドハンドリングなど)。 ・次回は飛行機内のスペースや物資のやりくりの工夫等について教えてもらえればと思う。 ・次回は飛行機の操縦について教えてもらえればと思う。 ・グランドハンドリングについてもっと知りたい。等
「あまり受けたくない」理由	航空分野に関心が無い為	・あまり興味がないから。 ・航空分野に興味がないから。 ・自分の知りたい分野ではないから。等
	別の進路を決めている為	・自分が進みたい道がまた別にあるから。 ・自分は決まっている将来の夢があるから。 ・専門学校に行こうと思っているから。等
	その他	・1回受けたことで、どのような仕事があるのかわかったから。 ・もっと他の職業を見たい。等

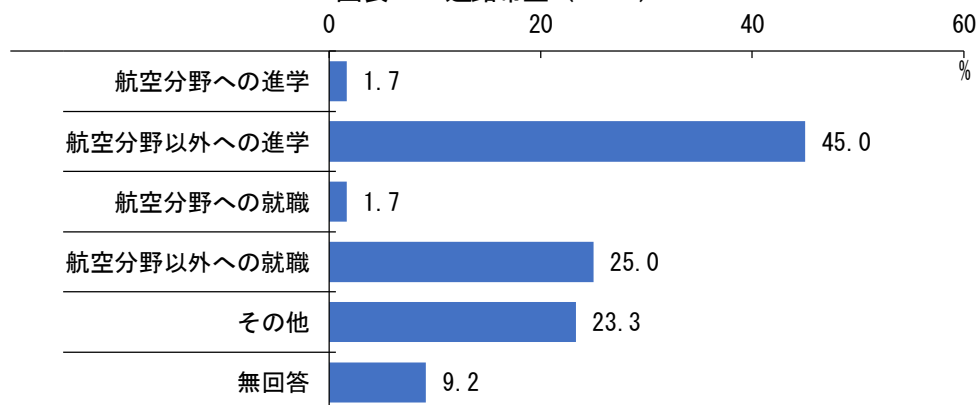
【問 8 進路希望】

問 8 あなたは、卒業後、どのような進路を希望していますか？（〇はいくつでも）

進路希望は、「航空分野以外への進学」が最も多く 45.0%、次いで「航空分野以外への就職」が 25.0% となっている。航空分野への進学もしくは就職は、合わせて 3.4%にとどまっている。

「その他」としては、「美容専門学校」、「声優専門学校」、「医療系専門学校」の他、「全く決まっていない」、「未定」等があげられた。

図表 21 進路希望 (N=120)



	合計	航空分野への進学	航空分野以外への進学	航空分野への就職	航空分野以外への就職	その他	無回答
全体	120 100.0	2 1.7	54 45.0	2 1.7	30 25.0	28 23.3	11 9.2

【問 9 進路についての意見等】

問 9 あなたが、進路について不安に思っていることや、知りたいこと等についてお書きください。

進路についての意見等は、問 8 で「1. 航空分野への進学」及び「2. 航空分野以外への進学」との回答者からは、「資格や学費について、オープンスクールについて」知りたい、「英語がどれくらいできたらいいのかが不安」といった意見等があげられた。

図表 22 進路についての意見等

進路希望 (問 8 での回答状況)	意見等
「1. 航空分野への進学」及び「2. 航空分野以外への進学」と回答	・ 資格や学費について、オープンスクールについて。 ・ 英語がどれくらいできたらいいのかが不安。
「2. 航空分野以外への進学」と回答	・ 自分のなりたい職に就けるのか。今のうちに準備しておける事は何か。 ・ 行きたい学校にいけるか、就職できるか。 ・ いくつかの進路で迷っている。 ・ 学力が足りない。 ・ 専門的な学校へ進学後に違う分野に興味を持ってしまうたらどうするか。等
「2. 航空分野以外への進学」、「4. 航空分野以外への就職」、「5. その他」と回答	・ どのような人が面接で好印象と見てもらえるか。

進路についての意見等（続き）

進路希望 (問8での回答状況)	意見等
「4. 航空分野以外への就職」と回答	・色々不安なことが多いけど特に自分は何がしたいのかわからない。 ・就職できるのか。 ・理学療法士になるにはどのようなことが必要か。興味のある仕事がありません。
「5. その他」と回答	・どんな人間関係になるのか。勉強について行けなかったらどうしよう。 ・将来なににになりたいかが決まってない。 ・進路を迷っていて中々決めることができない。 ・何もしたいことがなくて不安。 ・学費。等
無回答	・決まっていない。

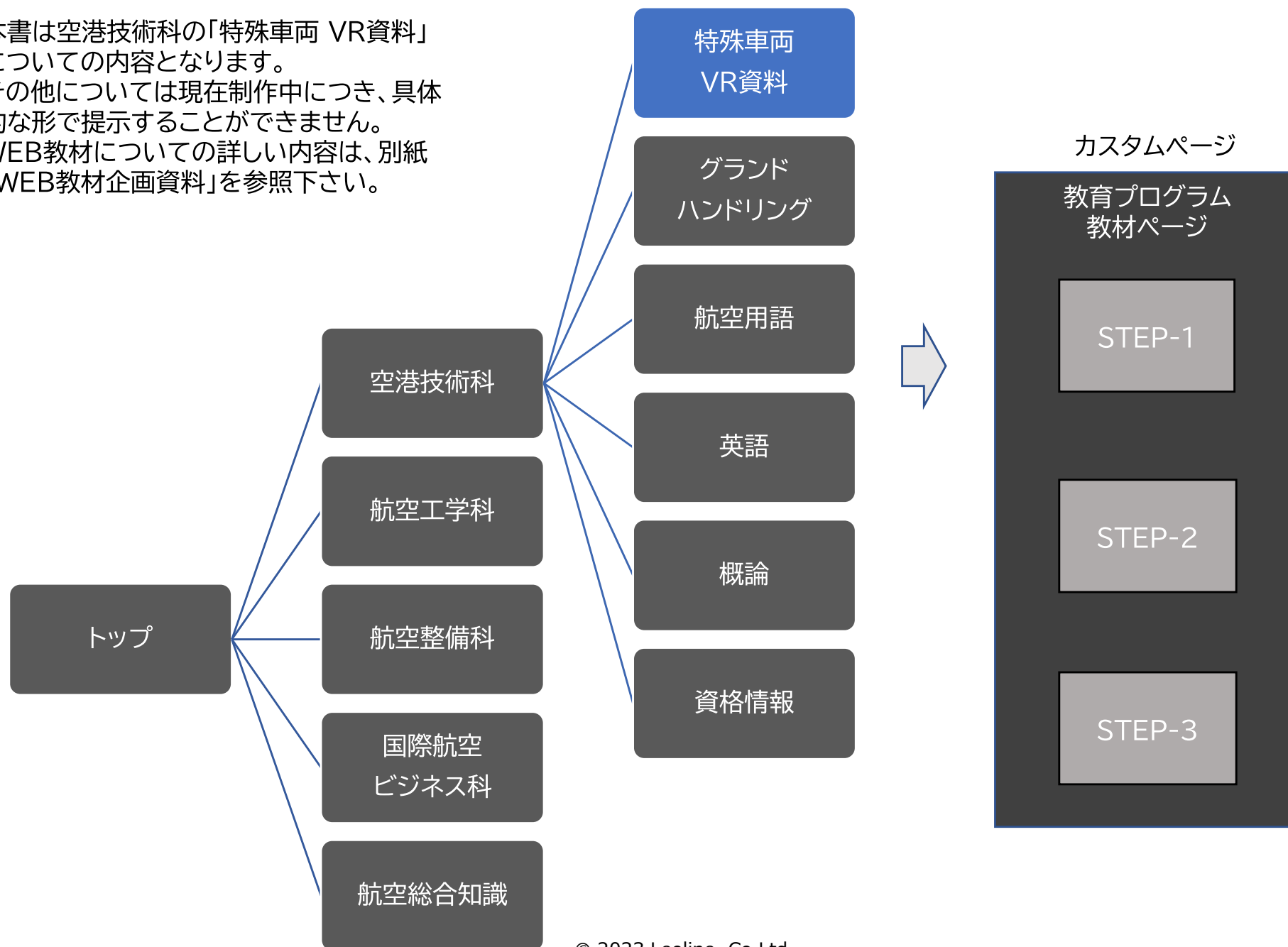
日本航空大学校 北海道 WEB教材 制作進捗報告 Vol.1

制作内容： VRコンテンツ 空港技術科 特殊車両 2023/02/23 現在

VRコンテンツ企画開発・撮影制作
株式会社Leoline

WEB教材構図

本書は空港技術科の「特殊車両 VR資料」
についての内容となります。
その他については現在制作中につき、具
体的な形で提示することができません。
WEB教材についての詳しい内容は、別紙
「WEB教材企画資料」を参照下さい。



スタート画面

■下記URLから閲覧ください。

<https://jaa-edu.com/vr/tour/tech/>



画面操作・機能について

収納ボタン

表示情報を隠して画面を見やすくします。

共有ボタン

LINE、メール、QRでVRを共有できます。
現在制作中につき非表示となっています。

車両選択ボタン



サイドメニュー

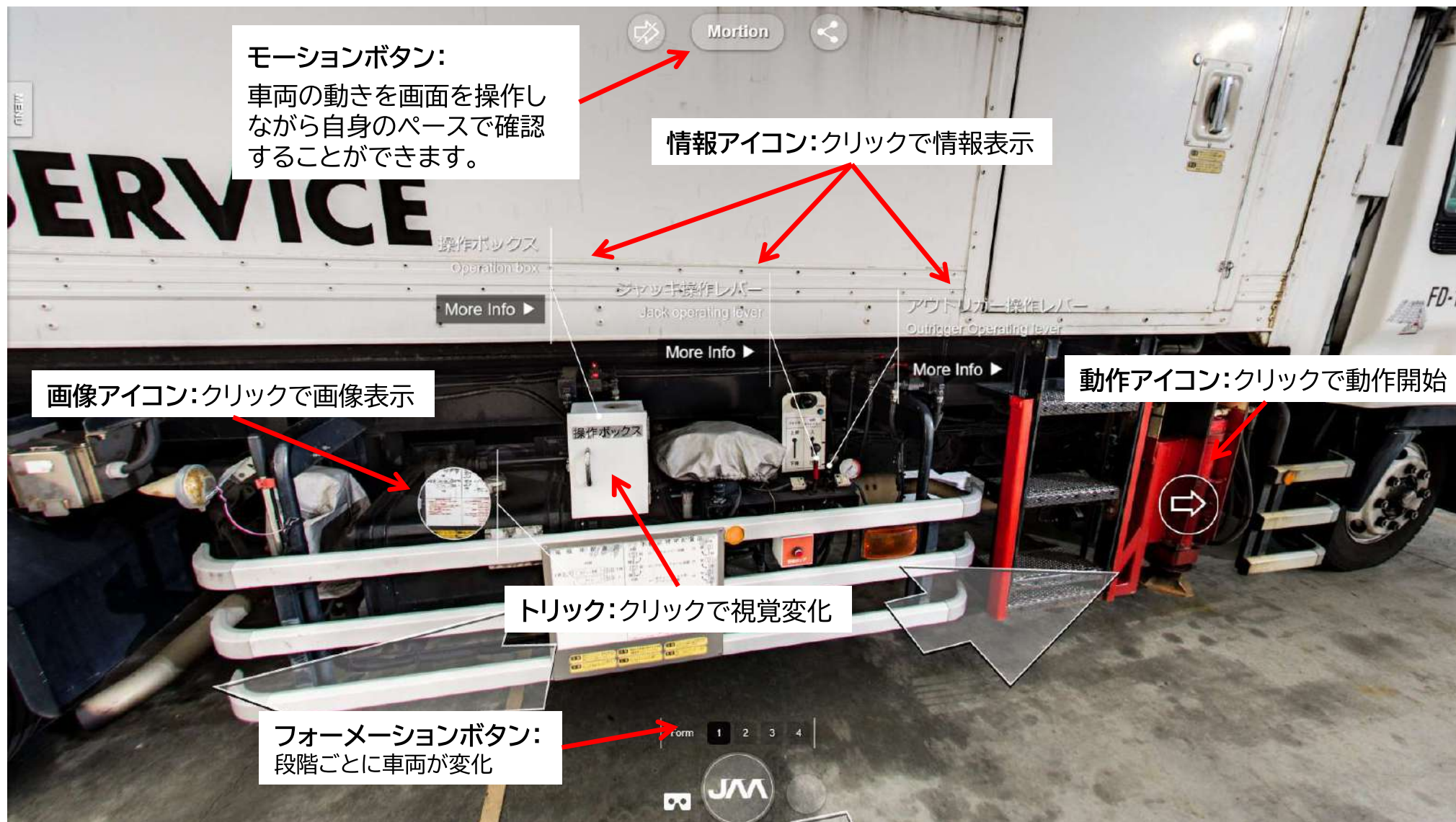
・車両選択し、該当する場所へ移動
⇒各所のアイコンから詳細を閲覧

画像ジャンプメニューボタン

・サムネイル画像から各シーンへ移動

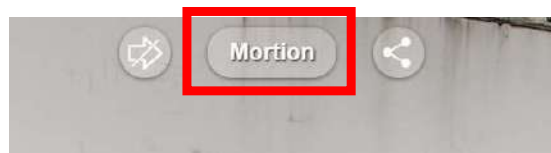


車両画面について



モーションについて

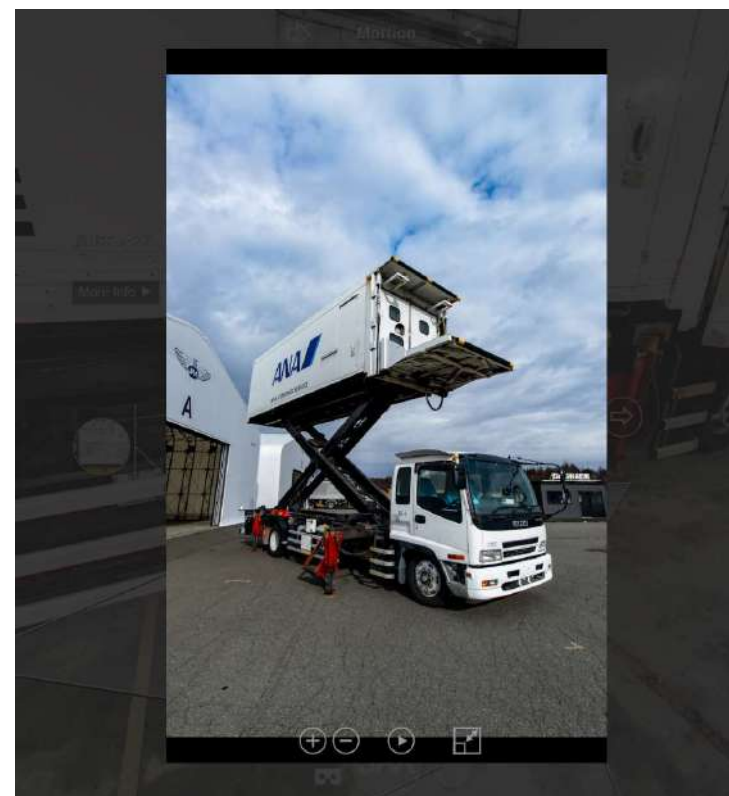
画面上部



各車両を選択した際に表示されるMortionボタンから、
車両の動きを確認することができます。

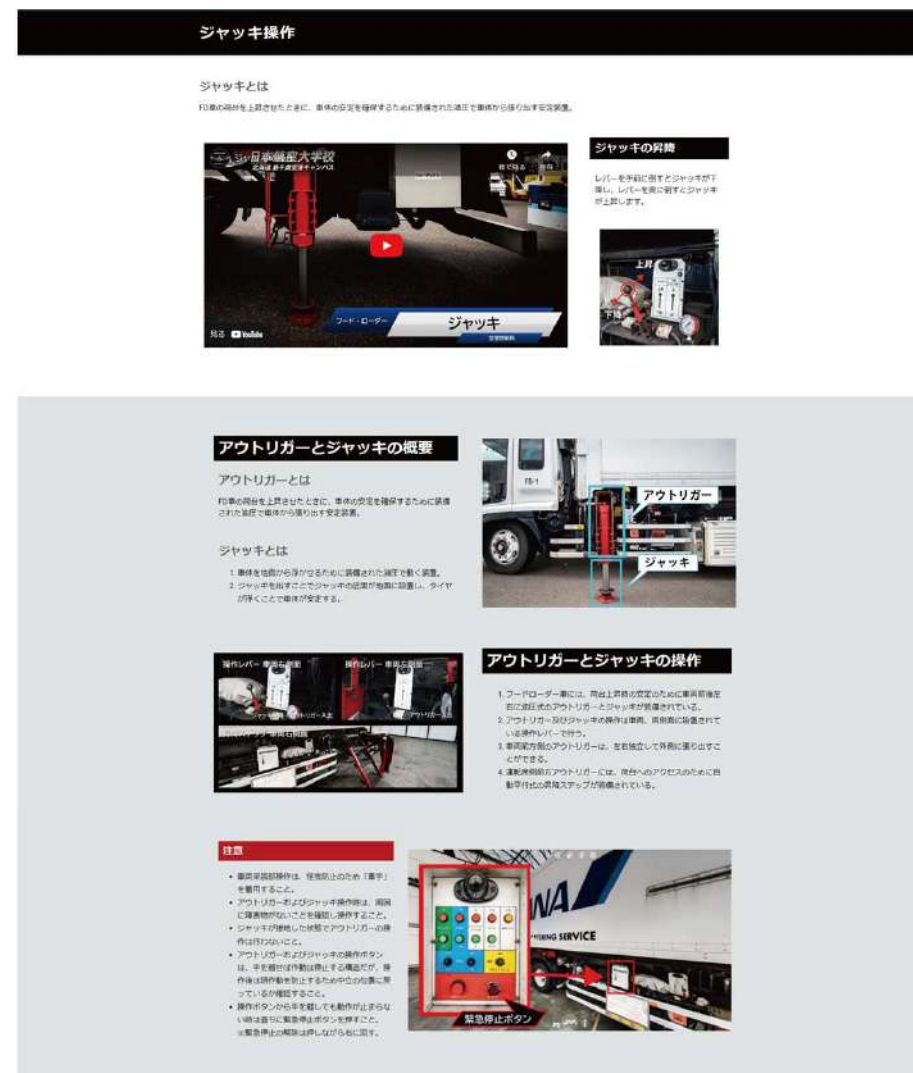
※給油作業車は含まれません。

画面を左右に動かすと車両が動きます。



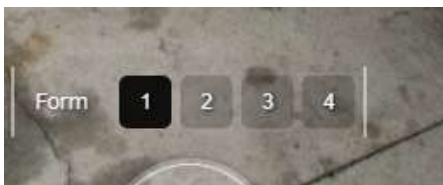
情報アイコン

各所に配置された情報アイコンから情報を得ることができます。



テキスト、写真、動画で詳細を説明

フォーメーションボタン



画面下部に表示されるFormボタンから、VR内の車両を段階的に変化させて見ることができます。

このボタンは変化がある車両またはシーンで出現します。

フードローダー



通常



アウトリガー出



ジャッキ下降



荷台上昇

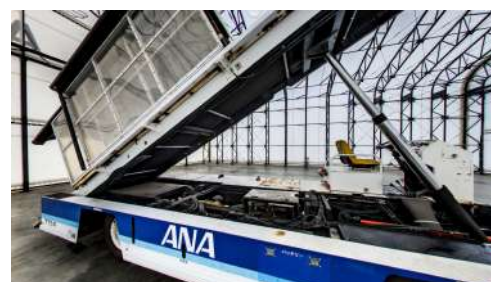
ベルトローダー



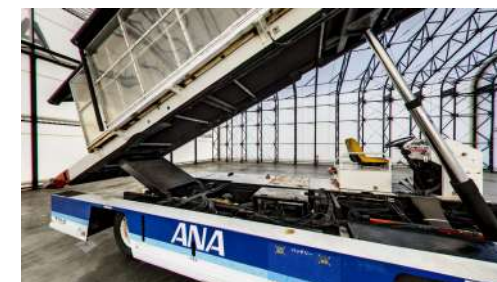
通常



上昇1



上昇2



上昇3

ハイリフトローダー



通常



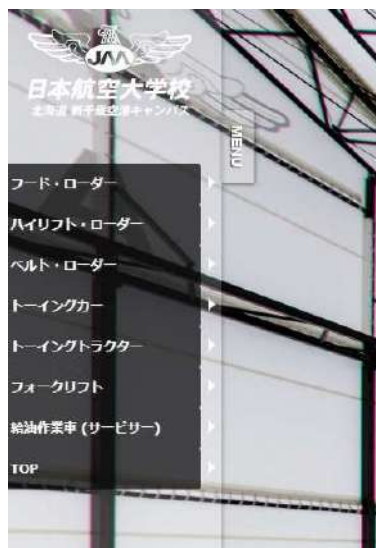
上昇1



上昇2

サイドメニュー

画面左

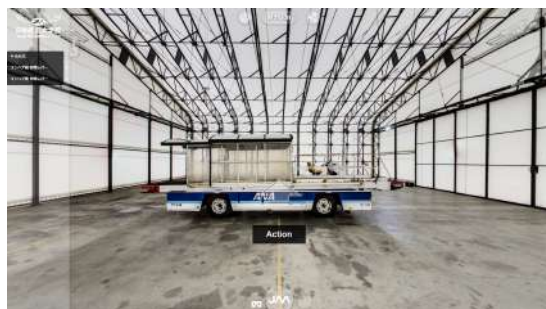


名称を選択すると、その場所へ移動して設置されたアイコンから、箇所を確認することができます。

また、名称によって画面が自動的に動くので、レバーやボタンなどを操作した際の視覚的变化を確認することができます。

選択例)

ベルトローダー ⇒ コンベア昇降レバー ⇒ コンベア前 昇降レバー



車両が出現



レバーの箇所を確認



動作を確認